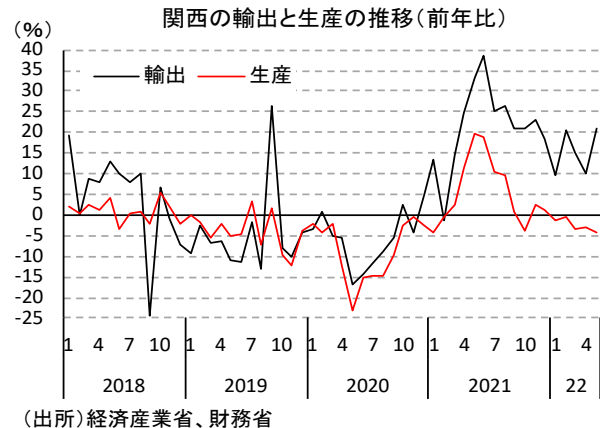
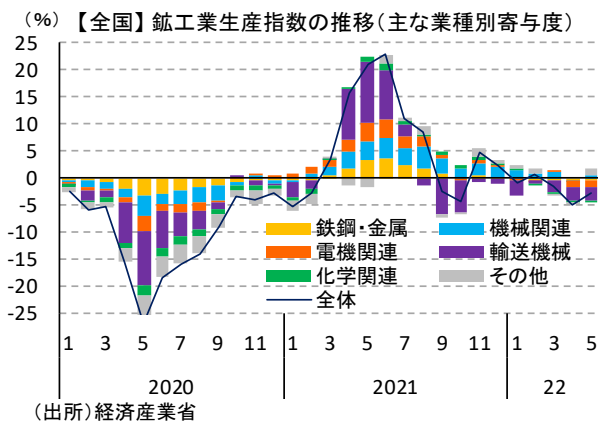
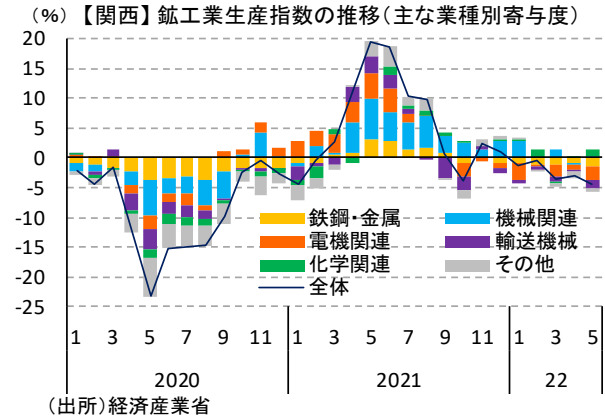
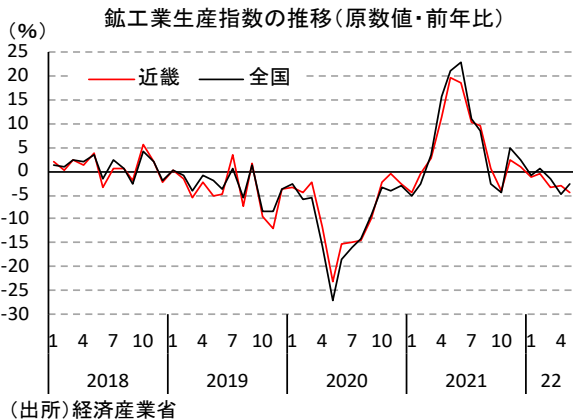


関西の景気トピックス【鉱工業指数（22年5月）】

- 22年5月の鉱工業生産動向（近畿経済産業局）の速報データによると、生産（原数値）は前年比で4.3%減と、5か月連続の減少となった。業種別の推移では、化学関連がプラスとなったのを除き、大半の業種で減少となっている。特に電機関連は半導体不足の影響もあり、民生用電子機械や電池関連、電子部品・デバイスなどで幅広い減少がみられた。
- 在庫循環の動きをみると、前月と同様に、需要が予想を下回って在庫が積み上がる「在庫積み上がり局面」となっている。
- 生産と輸出の関係を見ると、両者には一定の連動性が存在するが、ここへきて乖離がみられる。ただし、ウクライナ危機やインフレ、利上げによる需要の鈍化などがあいまって、世界景気の悪化懸念が高まりつつある。今後は、それに伴う輸出の減少に対する警戒が必要といえよう。



※近畿の鉱工業指数に関する詳細は近畿経済産業局HPにてご確認ください。